

あそびなま

“やってみる” から “はじまる” “つながる”

表紙デザイン
大伴亮介

あそびなま とは？
「あそび」と「まなび」を合体した新しい言葉です。
遊びながら学ぶというコンセプトがつまっています。

はじめに

近年、子どもたちの群れて遊ぶ姿を見ることが少なくなったといわれています。また、社会環境の急激な変化の中で、子どもたちの人間関係にも様々な問題が生じています。こうしたことから、子どもたちの体験の欠如を危惧し、多様な体験活動の機会を提供することが大人社会の急務であると考え人々が増えてきました。私たち神奈川県青少年指導者養成協議会の役割のひとつも、ここにあると考えています。

しかし一方で、いつの時代にも、子どもたちには自ら遊びをつくる力や豊かな人間関係を築く力が本来的に備わっていると、私たちは信じています。問題は子どもたちにあるというより、そうした力を引き出すことのできない、あるいは押さえこんでしまう社会環境にあるのではないのでしょうか。

ちょっとした場や仕掛けがあれば、そしてちょっとした時間と仲間があれば、子どもたちは自ら遊びをつくり、主体的に学び、多くの人とつながりを生み出していくでしょう。その仕掛けづくりや場づくりにかかわる青少年支援・指導者のみなさんに少しでもお役にたてればと考えて、私たちはこれまでも「アイスブレイキング」「群れ遊び」「グループワーク」などのアクティビティ（活動）を、冊子やDVDなどにまとめてご紹介してきました。

今年度は、子ども・若者の仲間づくりやチームビルディングに活用していただくため、平成24年3月に発行した『楽しくすすめるグループワーク』の続編を作成するつもりで専門部会をスタートさせました。しかし、多才で幅広い知識や経験を持った専門委員のみなさんによる自由な発想と楽しいディスカッションにより、「グループワーク」という枠に留まらず、「遊び」と「学び」というコンセプトでつながる、バリエーションに富んだアクティビティ（活動）集となりました。

もとよりこれは、完全なレシピ集ではありません。どちらかという、素材集として作成しました。この素材を生のまま子どもたちに提供するか、ちょっとした味付けをするか、はたまた豪華な盛り付けにするか。それは支援・指導者のみなさんにおまかせいたします。ぜひご活用ください。